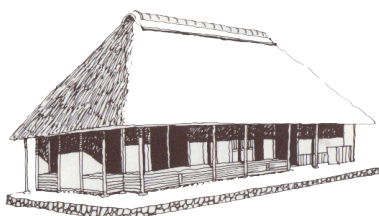


おも や

ま ど

主屋の形と間取り



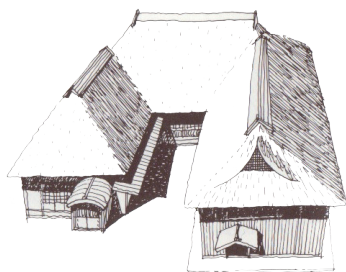
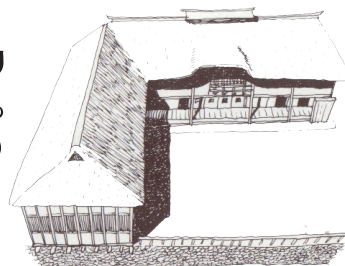
すこやづく 直屋造り

平面が長方形の民家の総称。居室や土間、^{うまや}厩などを横一列並べる造りのことをいいます。

まが やづく 曲り屋造り

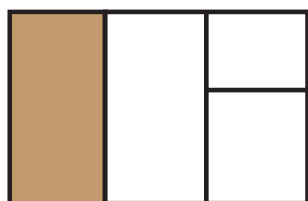
平面がL字型になっている民家。岩手県などで多く見られる形式で、突出部に厩などを設け、主屋とは土間でつながります。^{つのや}「角屋」^{かきや}「鍵屋」という場合もあります。

*⑨一之江名主屋敷



ちゅうもんづく 中門造り

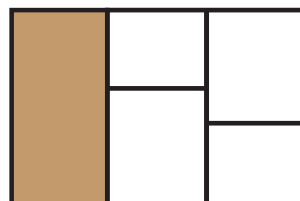
平面がL字で曲り屋と同様ですが、突出部の機能が違います。中門造りでは、突出部が主屋への通路や厩、便所などに使われます。形としてこの他に、U字型になる^{きづち}両中門（左図）や、T字型になる木樋中門などもあります。



ひろまがた み まど 広間型三つ間取り

板敷きの部屋（ヒロマ）、その後ろに2部屋を設けた3部屋形式の間取り。

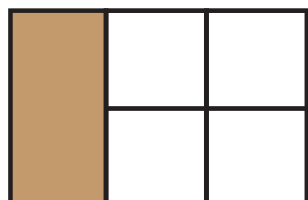
*⑥篠崎家・⑦栗山家



くいちが よ まど 食違い四つ間取り

広間型から進化した四間取り形式です。部屋の仕切りがきれいな田の字型ではありません。

*②松澤家・⑩城田家・長崎家



せいけいよ まど 整形四つ間取り

田の字型に4部屋が設けられた間取りで、江戸後期頃から多くなります。

*①和井田家・③内田家・④粕谷家・⑧大石家・⑩加藤家



や まど 八つ間取り

4部屋に接客用などの部屋がついた、8部屋の間取り。名主などの役を務めた農家にみることができます。

*⑩安藤家